

104-27

問題文

ムスカリン性アセチルコリン受容体を選択的に刺激することで、消化管や膀胱の運動を亢進するのはどれか。
1つ選べ。

1. ベタネコール
2. オキシブチニン
3. チオトロピウム
4. ネオスチグミン
5. ピレンゼピン

解答

1

解説

選択肢 1 は妥当な記述です。

選択肢 2 ですが
オキシブチニンは、M 受容体遮断薬です。頻尿治療薬です。 よって、選択肢 2 は誤りです。

選択肢 3 ですが
チオトロピウムは、「トロピ」があるので抗コリン薬です。チオトロピウム（スピリーバ）はいわゆる LAMA です。（LAMA：長時間作用型 吸入抗コリン薬） よって、選択肢 3 は誤りです。

選択肢 4 ですが
ネオスチグミンは、コリンエステラーゼ阻害剤です。M 受容体刺激薬ではありません。 よって、選択肢 4 は誤りです。

選択肢 5 ですが
ピレンゼピンは、M₁ 受容体遮断薬です。胃酸の分泌を抑える薬です。 よって、選択肢 5 は誤りです。（参考）

以上より、正解は 1 です。

類題、
参考)